

国 語

解答注意

問題は全部で三十四問あります。

解答シートへの記入例

①の答えが2のときには

① ↓

と記入します。

数字の記入例

○印の部分に注意してください。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

山のおもとに建っている神社には、白い「神馬」がいる。少女はこの「神馬」のことが気に入り、何度も神社に来ていた。

最初の時、少女は、自分たちのほかには誰もない厩舎の前で、母親に、この馬は石齧をつけて洗えばもつと白くなるのではないかとたずねた。母親は、なるかもしれないがならないかもしれない。生まれつきということもあるし……と言った。

少女は、^①練兵場で、茶色や黒の馬に混って鞭打たれながら砂埃をあげている白い馬でさえ、今見ているのよりはずっと白かったと思うのに、神社で飼われている馬がこれでは神様に対しても申し訳ないような気持だった。しかし、生まれつきかもしれないと言われてみて、はじめて自分の言ったことにどきりとした。

茶色の馬は何と呼ぶの？

少女はもじもじしながら、自分でも思いがけないことをたずねていた。

栗毛でしょうね。

母親はそう答えた。ただし、尻尾や鬣の色がちがうと、呼び方もまた変わるものらしいとつけ加えた。

黒い馬は？

青毛。

それならこの馬は白毛？

母親はしばらく考えていたが、

白毛とは言わないでしょう。やっぱり白馬かしら……

と言葉を濁した。

二度目の時、厩舎の前には^②ちよつとした人ばかりがしていた。少女が近寄って見ると、最初の時と同じように海に向って大人しく佇んでいる神馬の前で、赤ら顔の中年の男が、和服の懐から大きな折り財布を取り出すところだった。

素焼の小皿に盛られた神馬の餌は、麦と人参の二種類であった。男はどちらも買った。そして髪に花飾をつけた少女に人参の皿を与え、両手で後ろから抱き上げると、石の台の窪みに餌を移させた。馬は、その窪みを鼻先と唇で拭うようしながら人参を口に移したが、食べ終るか終らないうちに、突^③ぜん大声に男が叫んだ。

お廻り！

あの優しい大きな目を、^④暇がゆっくり覆った。しばらくそうなっていた。再び暇が開くと、神馬は頸を上下に振ってから、枯草の敷き詰められている床を踏んで、左手に静かに廻りはじめた。少女は目を瞠った。厩舎はあまり広くはなく、馬がその中を一^⑤ジュンするのにさほどの時間もかからなかったけれど、少女には^⑥ずいぶん長い道程に感じられた。

格子の隙間に白い顔が戻った時、中年の男は、今度は男の児を抱き上げて麦を移させた。馬は形よく開いた耳をびくびくさせながら、頸を深く傾けて石の台に顔を寄せて来た。額から鼻梁にかけての毛が、風に吹き分けられた薄の^⑦ホ波のように、きれいに左右に分れている。少女は、この馬も、時には風を突いて広い草原を駆りたいだろうにと思った。以前写真で見た、明け方の草原を勢いよく駆けて行く一群の馬の遠い影のような姿は、少女にはいつのまにかもう、写真と実景との区別がつかないものになっていた。

ようやく麦を食べ終った頃、待ちかねたように男がまた叫んだ。神馬はいったん顔を起すと、鬣のもつれている頸をしっかりと立てたまま、幾度か頭を左右に振った。それから目を伏せた。しかし、男がいま一度、前よりも大きな声で叫ぶと、もう頭は振らず、そのまま頸を落して、前と同じ方向に廻りはじめた。

少女が新しい人参をせがみ、男の児が次の麦を求めた。よし、よし。いくらでも買ってやるぞ。赤ら顔の男は、皿の数に生き甲斐を感じていらしたかった。^⑧子供の声の弾みに、父親の実感をかみしめているらしかった。

オマワリ！

男の声に、子供達の声が重なった。神馬は鬣を振りながら廻っては食べ、食べては廻った。少女は、白い馬を見ているはずであった。神馬を見ているはずであった。けれども^⑨目ざめたまま不思議な生きものの夢をみているようだというのが少女の実感であった。

いつのまにか、少女は人だかりの外に押し出されていた。そうされていながらなお蹄の音を聞き、^⑩IIを聞いた。神様のお乗りになる馬だから、人間の言葉がちゃんとわかるの。いまに目がまわってぶっ倒れるぞ。食べるだけじゃあ運動不足になるからな。もういやだという時は頭を振るのね、賢いわ、この馬。違うよ、怒鳴られて、音におどろいて廻るんだよ……

少女はそうしているうちに、どういうわけか、自分が非常に悲しい気分になっていることに気づいた。あのように厩舎を廻っている馬にも、廻らせている男にも自分を見るときという分別は、無論まだついていない。それで少女は、ただそれだけが手だてでもあるかのように、人々の後ろにいて、^⑪廻りどころのさだかでない悲しみを悲しんだ。誠実に悲しんだ。

※厩舎 馬を飼うための小屋のこと。

※練兵場 兵士達が訓練をする場所のこと。

(竹西寛子『神馬』より)

問一 傍線部③から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| ① ↓ | 1 | 不 | 2 | 夫 | 3 | 府 | 4 | 布 | 5 | 符 | (解答は①の欄) |
| ② ↓ | 1 | 全 | 2 | 然 | 3 | 前 | 4 | 善 | 5 | 禪 | (解答は②の欄) |
| ③ ↓ | 1 | 巡 | 2 | 順 | 3 | 準 | 4 | 純 | 5 | 循 | (解答は③の欄) |
| ④ ↓ | 1 | 保 | 2 | 帆 | 3 | 穂 | 4 | 歩 | 5 | 補 | (解答は④の欄) |

問二 傍線部I「誰」の部首と組み合わせると一つの漢字になる語を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 百 | 2 | 牛 | 3 | 寸 |
| 4 | 共 | 5 | 友 | | |

(解答は⑤の欄)

問三 傍線部①「神社で飼われている馬がこれでは神様に対しても申し訳ない」とありますが、その理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 神馬として飼われている馬だというのに、他の馬に混じって練兵場で人を乗せていたから。
- 2 神馬として飼われている白い馬だというのに、真っ白とは言い難い毛の色をしていたから。
- 3 神馬として飼われている馬なのに、以前は兵士を乗せて戦地へ行った戦のための馬だから。
- 4 神馬として飼われている馬なのに、栗毛でも青毛でもない不思議な毛の色をしていたから。
- 5 神馬として飼われている馬なのに、砂埃にまみれて汚れ、長く洗われてもいかなかったから。

(解答は⑥の欄)

問四 傍線部②「ちょっととした人ばかりがしていた」とありますが、人ばかりができていた理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 神社で大切に飼われている神馬が、餌を買うと人を乗せてくれる催しがあったから。
- 2 神社が大切に飼っている、ご利益のある神馬を参拝し、神馬に餌をあげられるから。
- 3 めったに人の前に出てくることのない神馬に、自分で餌をあげることができるから。
- 4 神馬用の餌を使つて、神馬に芸をさせるという男がパフォーマンスをしていたから。
- 5 神馬用の餌を買えば、神馬をその場で廻らせるという芸をさせることができるから。

(解答は⑦の欄)

問五 傍線部③「少女にはずい分長い道程に感じられた」とありますが、それはなぜですか。その理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 気だるそうにその場で廻る馬が疲れ切っていて、機敏に動くことができないでいたから。
- 2 餌に気を取られた馬が、餌の方を見ながら廻るため、なかなか前にすすまなかったから。
- 3 神馬に餌をやつて廻らせる男に従う馬にショックを受け、見ているのがつらかったから。
- 4 神馬に餌をやることを楽しんでる男に強い怒りを感じて、周りが見えなくなったから。
- 5 神馬に餌をやつて、厩舎を廻らせている男の非道な行動を止める方法を考えていたから。

(解答は⑧の欄)

問六 傍線部④「子供の声の弾みに、父親の実感をかみしめている」とありますが、これはどういうことですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 子どもが興味を持つているのは父親ではなく神馬であるという真実を知らずに、子どもの嘘を真に受けているということ。
- 2 子どもを喜ばせているのは自分でなく神馬だという現実を目を背け、自分が優れた父親だと思おうとしていること。
- 3 神馬の餌に金を使つて芸をさせて、子どもたちを喜ばせることで、自分が良い父親であると思おうとしていること。
- 4 神馬の餌を買うことで子どもたちが喜んでると信じ込み、子どもが本心は嫌がっていることを知らずにいるということ。
- 5 子どもに特別な経験をさせることこそが父の役割であり、そのためには他人を無下にしてもよいと考えているということ。

(解答は⑨の欄)

問七 傍線部⑤「目ざめたまま不思議な生きものの夢をみているようだ」とありますが、どのような様子を表現していますか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 餌をもらつて厩舎をまわる神馬のみすばらしい姿に幻滅し、理想の神馬を想像し現実逃避する様子。
- 2 餌をやる男と子どもたちへの反発心から、彼らのはやく目の前から姿を消すようにと祈る様子。
- 3 餌をやる男への強い憤りと、神馬への失望感で、これまでのことが夢ならよかつたのにと願う様子。
- 4 神馬に対して行われている非道な行為にとても耐えられず、現実から目をそらすようにしている様子。
- 5 目の前で行われている神馬への行為を受け止められず、今見ている光景が現実感を失っていく様子。

(解答は⑩の欄)

問八

II

に当てはまる適当な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑪の欄)

- 1 絶叫
- 2 悲鳴
- 3 罵声
- 4 人声
- 5 いなき

問九 傍線部⑥「扱よりどころのさだかでない悲しみ」とありますが、少女はどのようなことに悲しみを感じたのですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑫の欄)

- 1 神に近い馬とされた白馬が、人の手で使われて、毛並みを汚されること。
- 2 神様に奉納される馬が、不特定の人の目にさらされてしまっていること。
- 3 神のために用意されたはずの馬が、人の金でやりとりされてしまうこと。
- 4 神に奉納された立派な馬が、人のエゴによって見世物にされていること。
- 5 神様のための気高い馬が、意志を無視され人の所有物になっていること。

問十

本文の表現の特徴として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑬の欄)

- 1 少女の姿と神馬の様子を対照的に描くことで、少女と神馬の心の距離を浮き彫りにしている。
- 2 地の文に会話文を織り交ぜることで、少女の神馬への揺れ動く感情や混乱を描き出している。
- 3 神馬の姿を美しい風景描写と重ね合わせて書くことで、神馬の神聖な様子を引き立てている。
- 4 神馬の穏やかな様子と、餌をやる男の粗暴さを対比して描くことで、善悪を区別させている。
- 5 神馬の、心情の読み取れない謎めいた雰囲気、少女の内面性を強調する役割を担っている。

II

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人間は残念ながら、まだ人の中身(心や精神)を測定するセンサーを発明していない。それなのに、私たちは「あの人は懐なごが広い」や「人に優しい」などと、評価を下している。本人にもわからない内面的なことを、外見的情報から ^a スイ測している。というより、勝手に決めているのである。

「中身を磨くには、先ず『見た目』から」は、映画『マイ・フェア・レディ』に出てくる台詞である。映画の粗筋は、貧しい花売り娘であるオードリー・ヘップバーンが社交界の花形になるまでのサクセスストーリー。オードリーの教育係である女性が言った「中身を――」の台詞こそ、中身を磨く最良の方法だと私は思っている。というのも、見た目をよくするには、頭を膨大に使わなくてはならない。

II 本書に書かれていることを、^① 実践できるレベルまで自分のものにしていくには、「自分の頭で考える力」が要る。単に知識として知っているだけでは、「中身」は磨かれない。身体でわかっている状態になり、生活の中で実践できてこそ、初めて「見た目」が良くなる。見た目が良くなった頃には、貧しい花売り娘が知性・品格の伴った上流階級の婦人方の中でも、^② 抜きん出た存在になっている。

また、オードリーの「先生」は言語学者である。社交界の花形になるには、ずば抜けて美しい発音ができなくてはならない。訛りのある野卑な発音しかできなかった花売り娘が、社交界で通用する話し言葉を身に付けるのは至難の業である。生来耳が良くなければならないし、美しい言葉を自在に操る知性と音楽性が備わっている必要がある。脳の色んな領域をフル回転させられる知性。自分の言動が相手にどう伝わるかを判断する客観性。それら全てを身に付けるには、^③ キン勉な努力が必要で、アスリートに求められるような集中力もある。――見た目を磨くことで、中身も磨かれていく。

^④ だから中身は見た目に表れると考えていいのである。古代ギリシアの哲学者・クセノフオンは『ソクラテスの思い出』(岩波文庫)の中で、ソクラテスはこう言ったと書いている。

「高貴と自由や、[※]微賤びせんと卑屈や、思慮とたしなみや、[※]傲慢ごうまんとぶしつけもまた、顔によって、たとえ人間が静止していようが、動いていようが、現われて来るものである」

わかりやすく言うと、人間の中身は顔に表れてくるものだ、という意味である。私は二十一世紀になって、「^④」と言ったのだが、紀元前五世紀頃に、すでに[※]ソクラテスが「顔を見ればどんな人間かわかる」と指^⑤ テキしていた。哲学の祖は九割などと控えめには言わない。前後関係から察するに「顔だけで全部わかる」と言っているのである。

^⑥ 大学受験までの「頭がいい人」と社会に出て三十年ほど経った時の「頭がいい人」は、随分異なるものだ。社会に出ても、三十歳ぐらいまでは、記憶力が良くて、物事をできるだけ客観的に判断できて、論理的に相手を説得できる人が「頭がいい」と言われる傾向がある。

五十歳を過ぎててもその能力は大事だが、その年齢になるとそれだけでは済まない。「人を動かす」という大事な仕事がある。人は論理よりも感情

で動くことも多いので、その言葉が相手の感情にどう影響するかも考えながら話す必要があり、たとえば「仕事のできない人の感情」に寄り添って言葉を選ぶことができない人には、人望は伴わない。

⑥ 人望を手に入れる方法は一人一流で、※本田宗一郎のように基本的には朗らかで、感情の起伏は激しいが、裏表がないために好かれるというタイプもいる(本田タイプには数字に強い参謀さんぼうが必要だが、彼には藤澤武夫という名参謀が付いていた)。

Ⅲ、※マイクロソフトの①ソウ業者ビル・ゲイツは総合力の高い成功者である。ビジネス界の頂点に君臨し、贅ぜいを尽くした生活をした時期もあつたろう。しかし、お金だけでは「幸せ」な日々は実感できないものだ。この十年程は経営の第一線を離れて、夫人と慈善活動に注力している。マイクロソフト社を拡大させるときは、激しさも見せたはずである。同社は技術を開発するというより、他社が開発した技術を買収して拡大してきた印象がある。守銭奴しゆせんぬの日々があつたことは想像に難くない。ビル・ゲイツ自身の性格にも激しさはあつたはずだ。しかし、近年は※篤志家の顔である。いい歳の取り方をしているように思う。

リーダーになる人は、世間を見渡して、自分がどういうタイプなのか見当を付け、あとは自分流を身に付けるほかない。「人の振り見て我が振り直せ」である。

それにはやはり観察力、自分がどう見えているかを客観的に把握する力、そして感情をコントロールする力が必要。

(竹内一郎『あなたはなぜ誤解されるのか』より)

※オードリー・ヘップバーン イギリス人の映画女優。

※微賤 身分や地位が低く、いやしいこと。

※ソクラテス 古代ギリシアの哲学者。

※本田宗一郎 輸送用機器メーカー「本田技研工業」の創業者。

※マイクロソフト アメリカのソフトウェア開発会社。

※守銭奴 金に執着を持ち、けちな人物のこと。

※篤志家 社会奉仕や慈善事業などに熱心に取り組む人。

問一 傍線部②から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

①	衰	2	垂	3	炊	4	粹	5	推	(解答は⑭の欄)
②	勤	2	金	3	禁	4	近	5	筋	(解答は⑮の欄)
③	的	2	適	3	笛	4	摘	5	敵	(解答は⑯の欄)
④	相	2	層	3	創	4	宗	5	宋	(解答は⑰の欄)

問二 傍線部Ⅰ「膨大に」の品詞名を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 形容詞
- 2 形容動詞
- 3 副詞
- 4 連体詞
- 5 接続詞

問三 傍線部①「実践できるレベルまで自分のものにしていく」とは、具体的にはどういうことですか。その例として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 海外旅行に行く際に、事前に旅行に使えるような英会話を暗記して、現地で使ってみる。
- 2 将来スポーツ選手になろうという夢を持っているため、熱心に野球の戦術を本で読む。
- 3 社会に出て成功したいと考えているので、成功者の書いた著作を読んで意識を高める。
- 4 将来農家になりたいという夢があるので、休日に農家を訪ね、畑などを見学してみる。
- 5 尊敬する学者たちと議論するため、自らも研究・学習し、研究分野への理解を深める。

問四 傍線部②「抜きん出た」とありますが、そのような意味を表すことわざとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 鷹が鷹を生む
- 2 出る杭は打たれる
- 3 一頭地を抜く
- 4 弘法にも筆の誤り
- 5 青は藍より出でて藍より青し

(解答は⑳の欄)

問五 傍線部③「だから中身は見た目に表れると考えていい」とありますが、筆者がこう考えるのはなぜですか。その理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑳の欄)

- 1 人の見た目には、その人の持つ天賦の才能や性格が、内面性として表れてくるものだから。
- 2 人の見た目には、その人が努力の結果身に付けた知性や客観性が、自ずと現れてくるから。
- 3 人の見た目には、その人が過去に味わってきた苦労や過酷な経験が反映されるものだから。
- 4 人の見た目には、その人の経験の多さや年齢を重ねただけの知性が宿っているものだから。
- 5 人の見た目には、熱心に蓄えた知識や、勉強した分だけの知能の高さが表出してくるから。

問六

④に当てはまる適当な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は㉒の欄)

- 1 人を見かけて判断しない
- 2 人を見かけによらない
- 3 人は見た目がすべて
- 4 人は見た目が九割
- 5 人は第一印象が大切

問七 傍線部⑤「大学受験までの『頭がいい人』と社会に出て三十年ほど経った時の『頭がいい人』は、随分異なる」とありますが、筆者がそのように言うのはなぜですか。その理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は㉓の欄)

- 1 社会に長く出ていけば、ただ知識があるだけではなくて、人が何に影響されるのかを考えて寄り添える能力が必要になるから。
- 2 社会人として最も求められることは、知識の多さではなく、客観的な視点を持ち、論理的に相手を観察できる能力であるから。
- 3 社会に出て長い時間が経過すれば、「頭がいい」ことは二の次であり、どのくらい長く仕事に従事したかが重要視されるから。
- 4 社会に出て間もない人物には「経験」は求められないが、社会に出て長い人には知識や観察力のほかに経験値も必要だから。
- 5 社会に出るまでの勉強は机に向かって行うものばかりだが、社会に出ると、人との交流の中で学ぶべき力がほとんどだから。

問八

Ⅱ・Ⅲに当てはまる言葉の組み合わせとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は㉔の欄)

(解答は㉔の欄)

- 1 Ⅱ だから Ⅲ あるいは
- 2 Ⅱ または Ⅲ しかし
- 3 Ⅱ たとえば Ⅲ また
- 4 Ⅱ つまり Ⅲ したがって
- 5 Ⅱ そのため Ⅲ ところが

問九 傍線部⑥「人望を手に入れる方法」とありますが、本文中では具体的にどのようなことがあげられていましたか。その例として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は㉕の欄)

(解答は㉕の欄)

- 1 同じ仕事のチームメンバーを鼓舞するための共通の目的やスローガンを考え、統率すること。
- 2 チームの中に一人、仕事の進みの遅い人がいれば、その人にも寄り添って対応を考えること。
- 3 仕事の仲間たちの能力を瞬時に見定め、チームの成長のため個々の扱いに優劣をつけること。
- 4 チームメンバーが何を求めているかを聞き取り、各々おのづからに対し異なる報酬を考え、与えること。
- 5 チームメンバー全員が同じ方向を向くことができるように、論理的な計画を立てて導くこと。

問十

本文の内容と合っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は㉖の欄)

- 1 人に指導する立場の人間に最も必要なものは、感情に左右されない、完璧な自己コントロール能力である。
- 2 人の上に立てる人間に必要な素質とは、儲けばかりを考えるのではなく慈善活動や社会奉仕する志である。
- 3 人に影響を与える人物になるためには、誰よりも努力して、他者より優れた長所を身につけねばならない。
- 4 人を動かし、人の上に立つ人間になろうとするのなら、自分を客観視できる観察力を育てるべきである。
- 5 人の上に立つ素質を持っている人間は、幼少期から他者よりも優れた才能を持っているという事例が多い。

次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

昔、延喜の御門の御時、五条の天神のあたりに、大きな柿の木の実ならぬあり。その木の上に仏現れて、おはします。京中の人こそぞりて参りけり。馬、車も立てあへず、人もせきあへず、^② 拝みののしりけり。

かくする程に、五六日あるに、右大臣殿 ^(ア) 心得ず思し給ひける間、「まことの仏の、世の末に出で給ふべきにあらず。 ^③ 我行きて試みん」と思して、日の装束うるはしくして [※] 檣榔の車に乗りて、御前多く具して、集りつどひたる者ども退けさせて、車かけはづして [※] 榻を立てて、梢を目もたたかず、あからめせずしてまもりて、一時ばかり ^④ おはするに、この仏、しばしこそ花も降らせ、光をも放ち給ひけれ、あまりにあまりに ^(イ) まもられて、しわびて、大きな糞鳶の羽折れたる、土に落ちて ^⑤ 惑ひふためくを、童部ども寄りて打ち殺してけり。大臣は「さればこそ」とて帰り給ひぬ。さて、時の人、この大臣をいみじくかしこき人にておはしますとぞののしりける。

〔宇治拾遺物語〕より

〔現代語訳〕昔、醍醐天皇の時代に、五条の天神のあたりに、大きな柿の木で、実をつけないものがあつた。その木の上に、仏が現れておいでになる。都中の人がこそぞりて参拝した。馬、車も止めるすきなく、人もせきあへず、^② 拝みののしりけり。

こうしているうちに、五、六日が過ぎたころ、右大臣殿は ^(ア) 心得ず思し給ひける間、「本当の仏が、この世の末の時代に現れなざるはずがない。 ^③ 我行きて試みん」と思われて、正装の束帯をきちんとお召しになり、檣榔の車に乗り、先払いの従者を多く引き連れて、群がついていた人々を退散させ、車から牛をはずして [※] 轆を榻に乗せ、柿の木の梢を目をそらさずじつと見つめた。二時間ほどそうしていらつしゃると、この仏、しばらくは花を降らせたり、光を放つたりしていらつしゃつたが、あまりにあまりに ^(イ) まもられて、疲れ果て、大きな羽の折れた糞鳶が、土の上に落ちてあわてふためくのを、子供たちが集まって打ち殺してしまった。大臣は「さればこそ」とて帰り給ひぬ。そこで、当時の人たちは、この大臣はたいへん賢い人でいらつしゃると言い合つたのだつた。

※ 檣榔 ヤシ科の樹木、ピンロウのこと。

※ 榻 牛車から牛を外した時に、車の轆（牛車の、牛に装着して引かせるために突き出している棒）を乗せる台。

問一 傍線部(ア)・(イ)の文中での意味として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(ア) 心得ず思し給ひける

—

- 1 理解したいと思ひになった
- 2 許したいと思ひになった
- 3 納得ができないと思ひになった
- 4 認められるだろうかと思ひになった

(解答は②の欄)

(イ) まもられて

—

- 1 大事に守られて
- 2 じつと見つめられて
- 3 あまりにまぶしくて
- 4 とても美しくて

(解答は②の欄)

問二 傍線部④「惑ひふためく」を現代仮名遣いに直し平仮名で表したものととして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 まどひふためく
- 2 まどひうためく
- 3 まどいふためく
- 4 まどいうためく

(解答は②の欄)

問三 傍線部①「おはします」、傍線部④「おはするに」の主語の組み合わせとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | |
|---|----------|--------|
| 1 | ① 大きな柿の木 | ④ この仏 |
| 2 | ① 仏 | ④ 右大臣殿 |
| 3 | ① 仏 | ④ この仏 |
| 4 | ① 大きな柿の木 | ④ 右大臣殿 |

(解答は③の欄)

氏名

受験番号

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞					

氏名

受験番号

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞					

問四 傍線部②「人もせきあへず、拝みののしりけり」とありますが、これはどのような様子ですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
(解答は⑮の欄)

- 1 人の波もせき止められないほどで、仏を拝んでは大騒ぎをしていた様子。
- 2 人の流れをせき止めてしまうほどで、仏を拝もうと押し合っていた様子。
- 3 人もせき止められないほどで、仏が見えずお互いに罵り合っていた様子。
- 4 人の通行をせき止めてしまい、道を開けるよう頼んだり罵ったりした様子。

問五 傍線部③「我行きて試みん」とありますが、右大臣殿は、どのようなことを試みようとしたのですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
(解答は⑳の欄)

- 1 大きな柿の木がなぜ実をつけないのか原因を突き止めようと試みた。
- 2 大きな柿の木の上に現れた仏は本物かどうかを確かめようと試みた。
- 3 大きな柿の木の上で自分も仏のふりをして人々をだまそうと試みた。
- 4 大きな柿の上の仏を見に集まった人々に道をあけさせようと試みた。

問六 傍線部⑤「大臣は『さればこそ』とて帰り給ひぬ」とありますが、大臣は、このときどんな気持ちでしたか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
(解答は㉓の欄)

- 1 大臣は、仏が人々の前で花を降らせ、光を放つを見て、「やはり仏さまだったか」とありがたく思った。
- 2 大臣は、仏が柿の木に花を咲かせているのを見て、「柿の木に実もつけられるのではないか」と期待した。
- 3 大臣は、仏が大きな糞鳥になったのを見て、「やはり本当の仏ではなかったのか」と、予想通りに思った。
- 4 大臣は、仏が子どもたちに打ち殺されてしまったことを、「なぜそんなことをするのだ」と嘆き悲しんだ。

問七 本文の内容と合っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
(解答は㉞の欄)

- 1 右大臣は、実のならない柿の木に現れた仏と、心を通わせるまで通い続けたところが評判になった。
- 2 右大臣は、柿の木に降り立った仏の姿を見るために、人々を押しつけて行ったところが批判された。
- 3 右大臣は、急に現れた仏を信じる人々に呆れて、民衆の目を覚まさせようとした行動が賞賛された。
- 4 右大臣は、柿の木に降り立った仏を簡単には信じず、正体を確かめようとしたところが評価された。